

アンケートの実施結果について

令和2年4月20日付通知にて、富雄保育園及び富雄第三幼稚園の保護者を対象にしたアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

配布対象者：富雄保育園135名、富雄第三幼稚園15名 合計：150 回答者数：13名

ご質問に対する回答について（奈良市・社会福祉法人楽慈会）

Q1

新型コロナウイルスの影響により4月～5月の行事・保育が十分実施できなかったことについて、十分な引継ができないのではと不安を感じています。子どもへの精神的な影響などを踏まえて、適切に引継を進めることは可能なのでしょうか。また、このような想定外の事態でも民間移管を当初計画通り進めることが可能でしょうか。

➤ A1

＜奈良市より＞

保護者の皆様におかれましては、特別保育をはじめとした本市の新型コロナウイルス感染症対策の取組に、ご協力いただき誠にありがとうございます。本年4月及び5月については、特別保育の実施等、これまでどおりの保育を継続することが困難な状況が続いていましたが、当該期間中にも移管先法人と民間移管に向けた準備や調整を行い、緊急事態宣言解除後は園長予定者及び主幹保育教諭予定者による富雄保育園の状況確認を実施したうえで、6月からの通常の保育開始に伴い、現在は感染症対策に最大限の注意を払いつつ富雄保育園にて引継保育を実施しているところです。また、引継保育に参加している園長予定者及び主幹保育教諭予定者は、過去に奈良市職員として市立園長や指導主事を務めた経験を有しており市立園の園運営に精通していること、併せて、令和3年1月からは、当初予定どおり園児一人一人の様子を引き継ぎ、園児・保護者との信頼関係を築くための共同保育を行うことが可能であることを踏まえて、当初計画どおり令和3年4月の富雄保育園の民間移管に向けて取り組みを進めていくことが可能であると考えていますので、何卒ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

＜楽慈会より＞

新型コロナウイルス感染症による様々な対策は今までにない初めての事態であり、子どもたち及び保護者の皆様におかれましては様々な不安を感じておられることと思います。当法人といたしましては皆様のご不安を真摯に受け止め、不安を取り除けるように努力していきます。保育面での不安には長年奈良市の幼児教育に携わってきたベテラン職員を配置し、職員の指導にあたりたいと考えております。また子どもたちへの精神的な不安に対しては週に数回の保育見学を実施し、親しくなれるようにしていきます。また、一人ひとりの発達に視点を当てた引き継ぎを実施することで、育ちの継続を図れるようにしていきます。

ご質問に対する回答について（社会福祉法人楽慈会）

Q2

今までは遠足時に弁当を家庭で用意する必要がありましたが、これは移管後も同じでしょうか。また、こども園移行を機に、園行事が平日中心となり、仕事を休まないといけなくなるのでしょうか。その他、園運営等がどのように変わるのか教えてください。

➤ A2

- ・保護者に作ってもらうお弁当は、子どもたちには特別なものです。遠足などの園外に出かける機会にはお弁当を持参していただき、子どもたちの楽しい気持ちを更に膨らませるためのご協力をいただきたいと思います。
- ・保護者の皆様にご参加いただく園行事は、2号認定、3号認定と様々な利用の家庭があることを踏まえ、基本的には土日に設定します。
- ・園運営に関しては、基本的には現在の保育園の運営を引き継ぎたいと考えています。しかしながら、より保護者の皆様の負担軽減になるような事項につきましては、新しいご提案をさせていただくことがあります。

Q3 保護者負担について、今までと比べて増えるのでしょうか。制服など何にどれ位の金額がかかるのか予定などあれば教えてください。

➤ A3

- ・制服及び生活に必要な物（バック、サブバック、スモック、お道具箱、靴、上靴）等は希望購入を検討しています。現在お使いの物は、続きお使いいただけます。令和4年度よりは、活動しやすい白ポロシャツ及び紺ズボンのようなものを考えています。
- ・給食費については、国が基準として示している7500円／月の徴収を検討しています。本園は、全アレルギー対応の自園調理での給食提供をさせていただきます。また、パンは当法人が作ったものを使用します。
- ・令和3年度より教育時間の充実を図るための教材費として、600円の徴収を検討しています。お楽しみ会、運動会等のおみやげ等もこちらより支出したいと考えています。

Q4 保護者会の組織的活動はどのようなものを予定されていますか。

➤ A4

- ・保護者の皆様との話し合いで決めていきたいと思っています。

Q5 各年齢のクラス数や、クラスの人数はどの程度になる予定ですか。

➤ A5

- ・令和3年度は、現在の数をそのまま引き継ぎます。
- ・令和4年度は、以下のクラス数及び人数配置で行う予定をしています。
0歳児：18名、1歳児：24名、2歳児：27名、3歳児：22名と23名（2クラス）
4歳児：26名と27名（2クラス）、5歳児：26名と27名（2クラス）
総園児数220名 定員予定

ご意見に対する回答について（社会福祉法人楽慈会）

No.1 配布された資料（4月20日付通知）だけでは詳細が分からないので、具体的な給食や行事などについても改めて説明を聞きたい。

- ・行事に関しては、現在の保育園の行事を基本とし、季節ごとに設定し行っていききたいと思います。

通年で行うもの：参観、誕生会、避難訓練、身体測定

※給食は、パワーポイントをご覧ください

＜令和3年度より＞

4月 新入園児歓迎会・5月 こいのぼり集会・6月 プール開・7月 セタ集会、

8月 夏の集い・9月 敬老の日の集い（地域交流）

10月 運動会、芋ほり（園内、養護学校）・11月 園内作品展

12月 音楽会、お楽しみ会、・2月 豆まき、お別れ会、生活発表会

3月 ひな祭り集会、お別れ遠足

＜令和4年度より＞

4月 始業式、入園式（3、4、5歳）・6月 終業式・9月 始業式

12月 終業式・1月 始業式・3月 卒園式

No.2 子どもから、先生大好き・保育園大好きと言ってもらえるような、子ども優先で誠実な保育を心がけて、子どもたちが戸惑うことのないようにスムーズに民間移管を行っていただきたいです。

- ・「子どもが自ら創造し、遊ぶ」「一人一人の個性を生かす」ことを念頭に、保育を進めてまいります。そのためにも、引継ぎ期間を通して、一人一人の個性や育ちの軌跡をしっかりと引き継いでいきます。
- ・「この先生は、知っている先生！」と子どもたちが安心して親しめるように、信頼関係の構築に力を注いでいきます

No.3 オプションの有無などにより、クラス内で格差が発生しないような配慮をお願いします。

- ・オプションとは、保育時間以後に行うプラスアルファの活動です。
- ・保育時間には、3～5歳児を対象に外部講師及び園職員（英語教師）の行う体験等の導入を予定しており、全園児が等しく体験できるように考えています。

No.4 保護者の費用負担や子どもの自主性を育むという観点から、制服や体操服は設定せず、服装は自由にしたいです。

- ・現在お使いのものをすべて使っていただくことが可能です。R4年度は、体操服的な活動着を検討しています。
- ・保護者負担の軽減を図るために、制服は設定しない予定です。
- ・教育時間の充実を図るために、教材費600円の徴収を検討しています。

No.5 延長保育の時間を拡大していただきたいです。

- ・延長保育の時間は、現在の富雄保育園の実施時間や子どもたちの疲れを考慮して19：00までを検討しています。

No.6 経験豊かな園長先生の印象を受け非常に心強く感じています。より良い園運営を確立するため、先生方の確保・育成に力を入れていただき、子どもたちがのびのび過ごせる職員配置をお願いします。

- ・現在の先生方にも、園にお残りいただけるように力を尽くしたいと考えています。また、奈良市の保育及び教育を経験している先生にも園に来ていただき、より充実した保育を目指せるように考えていきます。

No.7 昼寝用のベットを園で用意していただきたいです。

- ・お昼寝用の簡易ベット（コット）の導入を考えています。

No.8 おむつは園内で処分していただきたいです。

- おむつは、園での処分を考えています。

No.9 保育ICTサービスを導入していただきたいです。

- 保育ICTサービスの導入を考えています。

No.10 英語教室や茶道などの日本の文化に触れる機会を作ってほしいです。

- 全園児が定期的に英語に触れることができるように検討中です。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、お茶などの日本文化に触れられる機会も検討していきたいと考えています。

No.11 おもちゃや遊具の数が少ない、保育室が手狭に感じるなど今の園にも多少不満があります。

- 令和3年度には、子どもたちの年齢に合わせた遊びが展開できるよう、保育の質の向上に力を尽くしていきます。また、保育室のレイアウトを子どもたちが十分に遊びを展開できるように配置などを再考していきます。
- R4年度は、新園舎の充実した環境の中で生活していただきます。

No.12 移管後も市立富雄保育園の運営方針を受け継いだ園運営を軸に進めてください。

- 移管後も富雄保育園の運営方針、奈良市こども園カリキュラム「バンビーノプラン」を中心に保育を進め、子どもたちが過ごしやすく保護者の皆様が子育てしやすい園運営に努めていきます。

No.13 保育園職員や保護者代表者に法人が現に運営する認定こども園を見学してきてほしいです。

- 私立と公私連携型とでは、保育・教育の在り方が違います。但し、園舎及び備品などについては参考にしていただくことはできますので、京都にある藍咲学園への見学は可能です。